

■：2008年のリーマン・ショック後の危機を乗り切ったのは各国が思い切った財政出動をしたから、というのが定説になっています。わが国も昨年末、異例の2カ月連続金融緩和を日銀がやっていたのけました。白川日銀総裁は「物価上昇率1%が見通せるようになるまで強力に金融緩和を推進していく」と強調しています。これで企業や個人が借り入れし易くなって、設備投資や個人消費が増え、景気を押し上げる効果があるはず。庶民も少々財布のヒモをゆるめるといいことでしょう。

■：年末に不気味な予測報道がありました。米国の国家情報会議が発表した2030年の世界では、地球上に覇権（ヘゲモニー）を握る国は存在せず、はいいいのですが、日本については少子高齢化と人口減少のせいで「長期的成長の潜在力をむしろ減らして、衰退が続く」とか。中国が2020年代に米国を抜き最大の経済大国に、そしてインドも急成長を遂げる、と見えています。わが国の場合、年寄りに早く死ね、とは言えませんが、若い世代に「産めよ、増

やせよ」と言わなければいけませんかね。

■：北朝鮮のミサイル発射による「国威発揚」はどうやら成功したようです。在日朝鮮人も三々五々に集まり祝杯をあげていました。科学技術の進歩は素晴らしいことで、周辺海域の国々に被害が及んだわけでもありませんから、ここは「良かった」。しかしこの国の食糧事情は大変なものらしく、まともにも3食の食事もままならない、軍人だけが満腹の図はただけません。打ち上げ成功の技術が今後、核爆弾などに向けられては隣国日本としてはたまったものではありません。

■：「安モノ」の評論家や左派系学者が2013年の主たるテーマはどうやら「日本の右翼化」らしいです。憲法改正や自衛隊の「国軍」昇格などが、総選挙で選ばれた若手代議士たちからもささやかれてきています。居酒屋談議で面白かったのは「症候群の前に「完全ヒステリー」「平和ヒステリー」「原発ヒステリー」「人権ヒステリー」をつけて今の日本人の考え方を批判する。マスコミもその一端の責任あり、でしょうが、何事も過剰反応してはいけませんね。

■：「核を持っていないと発言権が圧倒的にない」「シナにめめられ、アメリカのめかけに甘んじた日本」――80歳で未だ「おれが、おれが」の石原某はどうやら右傾化の最たるものらしいです。かつて三島由紀夫も国軍待望論を口にしていました。言論の自由だから何をいってもOKということになるのでしょうか、政治家の中には国民の最も卑しい本能に訴えかけることを得意とする者が古今東西、いつの時代にも居るものです。自由民主主義の制度を支えているのは国民一人々々、ということをお忘れください。特に石原某とか橋下某に。日本人の民度は相対的に高いのですから。

■：昨年末大騒ぎの尼崎・連続殺人事件の主役角田美代子容疑者（64）が兵庫県警本部の留置場で自殺してしまい約9人の犠牲者を生んだ残忍な犯行の真相解明が困難になりました。

留置拘束する場合、2人は仲良くなり共謀して脱走を図るので、通常3人を置きます。角田もほかの2人と拘留中でしたが、うまくいかないもので、これで新たな犠牲者は出ないと思えますが……。

月刊公論 MONTHLY
KORON

2月号 第46巻2号

平成25年2月1日発行 毎月15日発売
定価890円(本体848円) 送料84円

発行人
発行所

大 中 吉 一 編集人 田崎義信 土井正彦
株式会社財界通信社
〒160-0008東京都新宿区三栄町25ボナフラワービル
TEL.03-5379-5611代、FAX.03-5379-5616

印刷所
取次店

株式会社廣済堂
トーハン/日本出版販売/大阪屋/栗田出版販売

●直接ご購入をご希望の方は、本社までお問い合わせ下さい。
●万一、乱丁、落丁などの不良品がございましたら、お取り替えいたします。